

～北海道大学、北洋銀行による社会体験のための実践的授業～



岩田地崎建設株式会社

[1] 企業説明

30分

1. スケジュール説明、会社の紹介
2. 当社のキャリアアップ
3. 自己紹介：上村（岩田地崎建設建築技術者→営業→環境ソリューション）
“まちづくりの先頭に。 “ごみ”が世界を救う
廃棄物とバイオマス、興部町での取組み
4. 自己紹介：橋本（建設コンサル→岩田地崎建設→北大博士社会人課程）

[2] ディスカッション

[3] 質疑応答、意見交換

1. 岩田地崎建設の紹介

イワタチザキケンセツ

商号 岩田地崎建設 株式会社

創業 大正11年（2022年に100周年）

資本金 20億円

従業員数 従業員数 814名（令和6年4月1日）

本社 〒060-8630 札幌市中央区北2条東17丁目2番地

支店／営業所 東北・東京・名古屋・大阪・広島・
四国・九州・海外／旭川・函館・帯広・釧路・
岩手・横浜・千葉・新潟・神戸・台湾



ダム



橋



トンネル

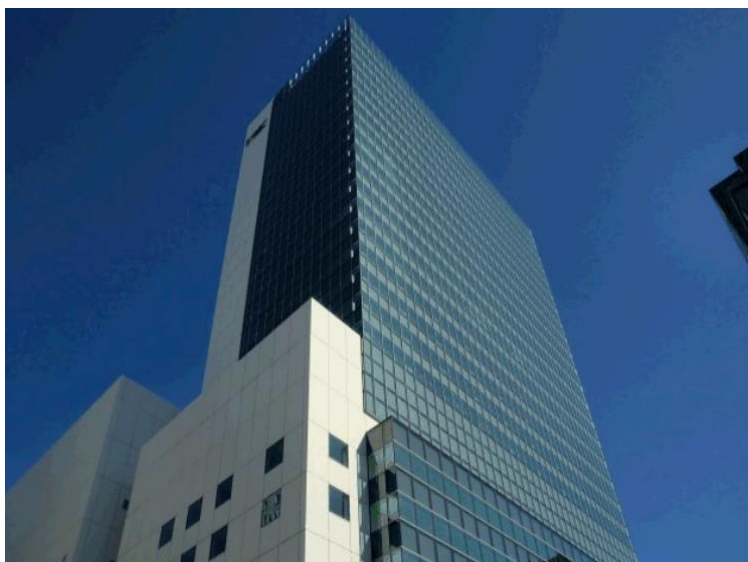




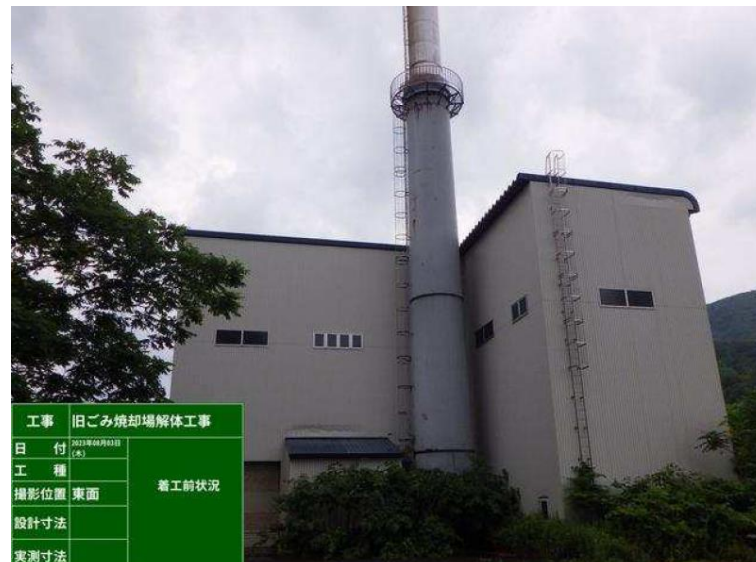
北海道議会庁舎改築



興部町バイオガスプラント



札幌創世スクエア



工事	旧ごみ焼却場解体工事	
日付	2023.09.01	着工前状況
工種	(5)	
撮影位置	東面	
設計寸法		
実測寸法		

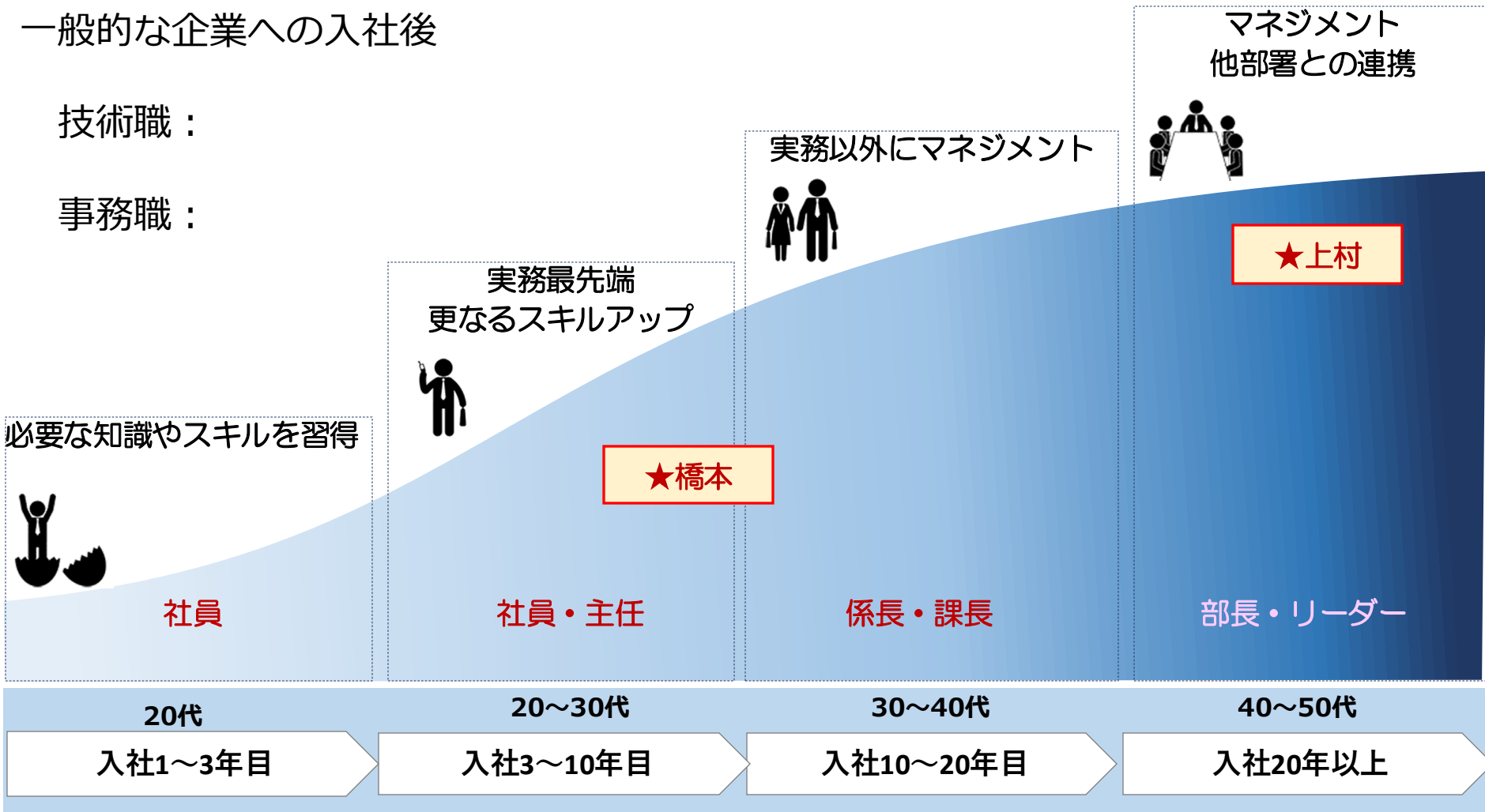
小樽市 旧ごみ焼却場解体工事

2. 岩田地崎建設のキャリアアップ

一般的な企業への入社後

技術職：

事務職：



- ・プレイヤーとマネージャー、プレイヤー兼マネージャー
- ・個人のスキルと集団の力
- ・マネジメント：目標設定と戦略策定、リソース配分、管理、部員の育成と評価

3. 自己紹介 上村

■ 本日の説明者 環境ソリューション部 上村英史（うえむら えいじ）



Solution : 問題・課題解決

社会実装開発
(バイオ技術etc)

環境配慮
(SDGs)

環境技術支援
(環境施設建設)

環境課題解決 (GHG削減etc)

会社を選択した理由：衣・食・住のどれかの仕事をしたかった
空間設計的な考え方が好きだった

- 1989年（平成元年） 入社（建築部の技術者：22歳）
マンション、観光ホテル、寺社仏閣建築、社会福祉施設、事務所など
- 2001年（平成13年） 営業へ異動（35歳）
官庁営業→民間営業→リフォーム分野に落ち着く・外断熱改修
- 2014年（平成26年） 環境ソリューション部へ異動（48歳）
大学寄附講座、ソリューション活動、環境分野プロジェクト参加
- 2021年（令和3年） 環境ソリューション部長 現在に至る

家畜ふん尿由来水素を活用した水素サプライチェーン実証事業



利用プロセス工事概要

- ・鹿追町に2ヶ所、帯広市に1ヶ所、水素燃料電池を設置
- ・発電時排熱を利用した貯湯ユニットを設置
- ・各施設へ温水提供設備
- ・チョウザメ用水を加熱する熱交換設備
- ・発電設備の系統連携(逆流防止システム)
- ・停電時用の自立運転機能
- ・各所温度、水温、水量、電力、ON/OFFセンサー設置
- ・高温・低温時などの諸条件時に、回避機能設置
- ・タブレットによるデータ/分、累積データ見える化
- ・タブレットによるCO2量、熱量の換算式による自動算出機能



「令和3年度脱炭素社会実現のための都市間連携事業」



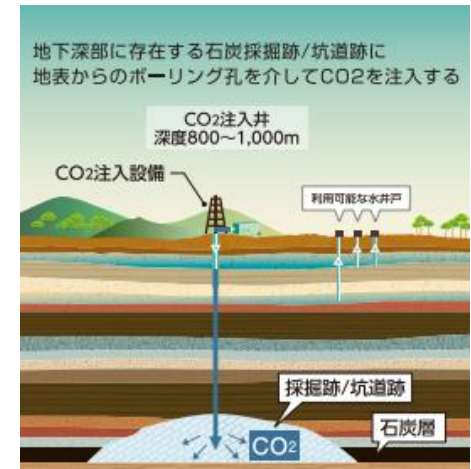
海外都市の脱炭素・低炭素化推進のため、日本の自治体が有する技術やノウハウ等を海外展開し、海外都市の脱炭素社会形成を支援するもので、これまでアジアを中心に13カ国39都市に対して日本の15自治体が本事業に参画しています。

Web会議の様子

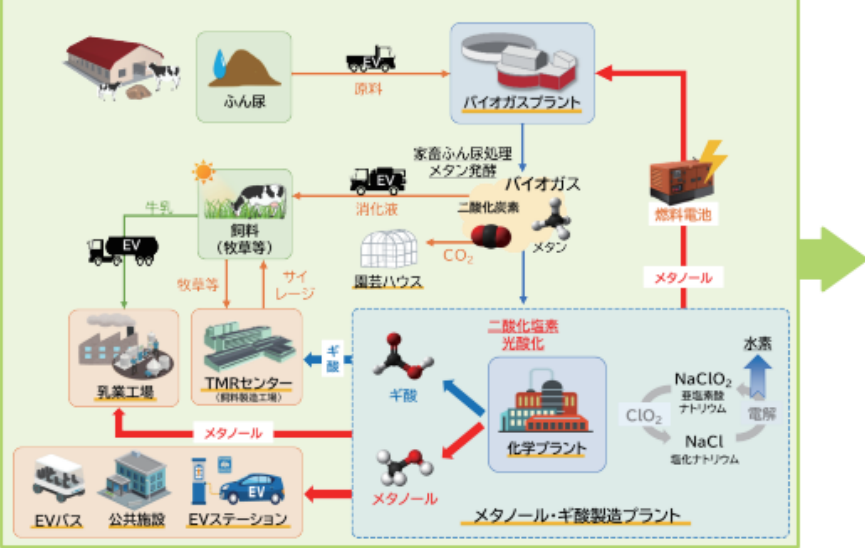


現在はコロナ禍により海外への移動が制限されているため、モンゴル・ウランバートル副市長をはじめとした関係者、通訳、札幌市をはじめとした日本の関係者などによる「Web会議」にて、協議をすすめています。

三笠市におけるゼロカーボンシティの実現に向けたまちづくり



カーボンニュートラル循環型酪農システムの構築



CO2 ↓
興部町を中心とした
脱炭素化の技術革新

地域循環共生圏の
形成へ

- ・SDGs推進委員会、サステイナブルレポート作成
- ・CO2排出量の見える化と削減活動
- ・環境広場、各種イベントへの参加、各種セミナーへの参画

“まちづくりの先頭に”ごみが世界を救う

都市圏では再開発事業が活発化している



ごみを捨てる→廃棄物・・・不法投棄⇒廃棄物処理法

リサイクル（廃棄物→資源）



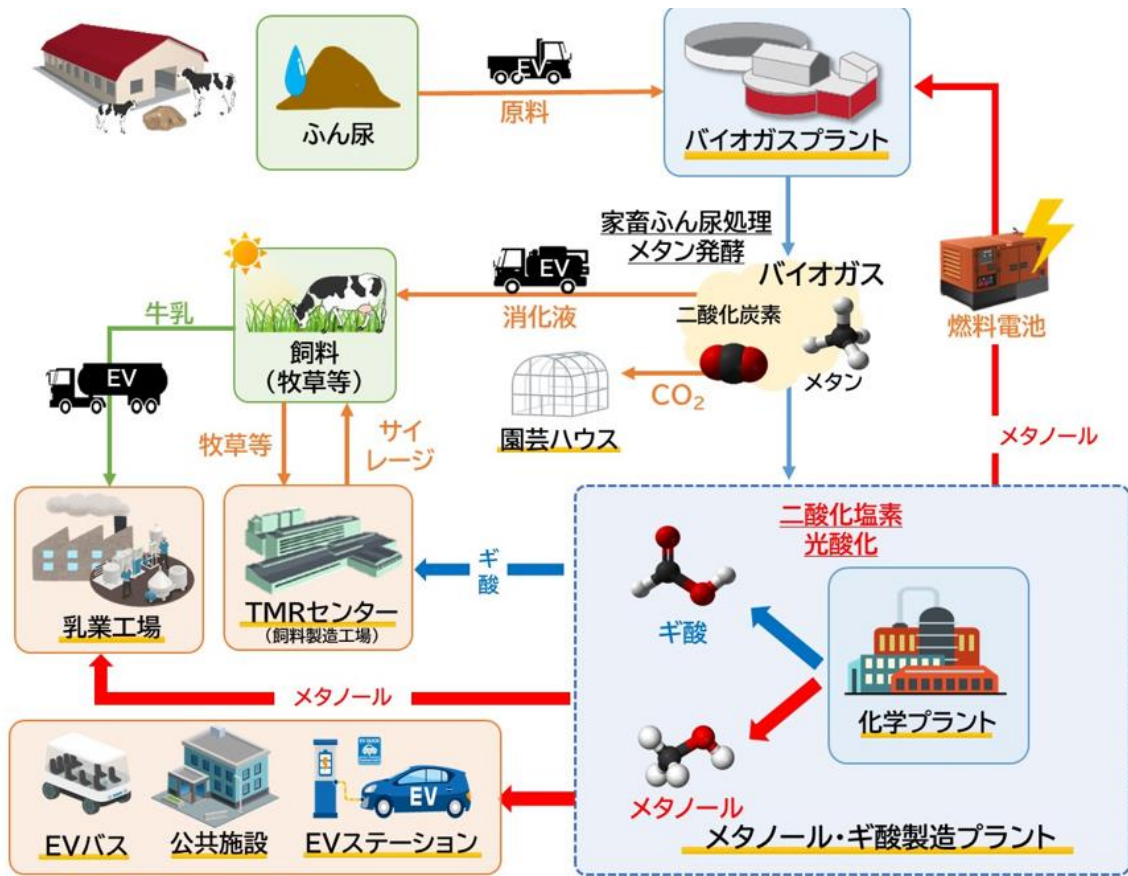
社会課題へ産学官連携で取り組む



ゼロカーボンイノベーション事業リリース



竣工式の様子(興部北興バイオガスプラント)



✦出典:「みどりの食料システム戦略」と「ゼロカーボン北海道」の実現に向けた対応について(2021年7月), 北海道農政部農政課政策調整係, https://www.maff.go.jp/hokkaido/photo_repo/attach/pdf/20210714-4.pdf

私のキャリア形成？～博士に行くことになった経緯

博士後期課程というものに対する意識

- ・理系のため、今まで漠然と博士というものを意識(先輩カッコいい)…でも自分でどうこうっていうほどではない
- ・博士だったら、ちょっとカッコいいじゃん程度の一般認識

先生！
今年度も大変お世話になりました…
来年もどうぞよろしく…

年末の大学挨拶にて…

ああ、橋本さんをドクターに進学させるなら、私あと3年しかいないから、もう来年入れるしかないよ(圧)

無言
圧力

工学またはエンジニアリングとは、
「基礎科学である数学・化学・物理学などを工業生産に応用する学問」

- ・おそらく先生は私の博士進学を何となく卒業後からずっと意識はしてくれていた…と思う
- ・社会人博士を輩出することで社会に学術的な貢献をしたいという意思

↑ 当社
会社役員

↑ 学生時代の
指導教官

こんなにも簡単に社会人博士進学が決まりました

学生と企業とで、北海道の未来を考える

【北海道の課題】

人口減による各自治体の存続の危機（2024年4月25日北海道新聞 117/179市町村）
原因は、都市圏の就職先に行くため？
就職先が少ない、あっても大きな会社でない、魅力的な就職先がない
産業が衰退しているためか？

【講義の課題】

- ①「魅力的な就職先、産業の創出」をするためには、岩田地崎建設は何をしていくべきか？
- ②「2人の講演者のうち、共感できたのはどちらですか。また具体的に共感したポイントについて教えてください。」